

技工室だより



2021 June~July

Vol.2

ごあいさつ

梅雨も明け、暑さがより一層厳しくなってきました。
皆様いかがお過ごしでしょうか？
当技工室も暑さに負けないよう、一層気を引きしめて
仕事に、課題に取り組んでおります。
今月も技工室だよりをお楽しみください♪



研修生



6~7月の臨床実習の様子

歯冠班

製作する技工装置の難易度が高くなっていますが、
一生懸命取り組んでいます。
真剣な表情で職員に指導を受けています。

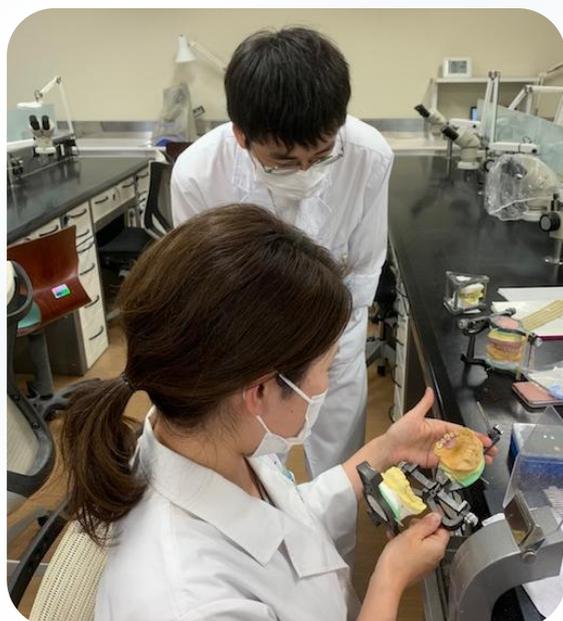


臨床実習の他にも、既製模型を使ってフルジルコニアクラウンを製作しました。



有床班

7月から班を移動した研修生もいます。
歯冠、有床どちらも学ぶことで、より患者さんに寄り添った技工物を製作できるようになります。



ラボ見学会

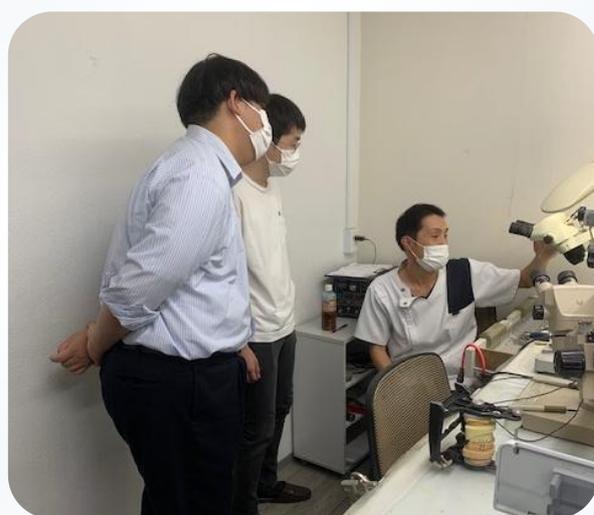


7/6 デンタルクリエーションアート見学

デンタルクリエーションアートを見学させていただきました。



初めに、デンタルクリエーションアート社長の川端氏（当院の歯科技工研修生OB）より、「技工装置を製作する上で大切なこと」をテーマとした講義を受けました。



その後2班に分かれ、審美補綴の色調に関することなど、興味深い内容を社員の方から教わりました。



デンタルクリエーションアートの創業者であり、現在同社会長の西村好美先生よりカービングのチェックを受けています。西村好美先生は当院の歯科技工スーパーバイザーを務めておられます。



2時間半の見学時間が終了し、玄関先で集合写真を撮りました（撮影時のみマスクを外しました）。

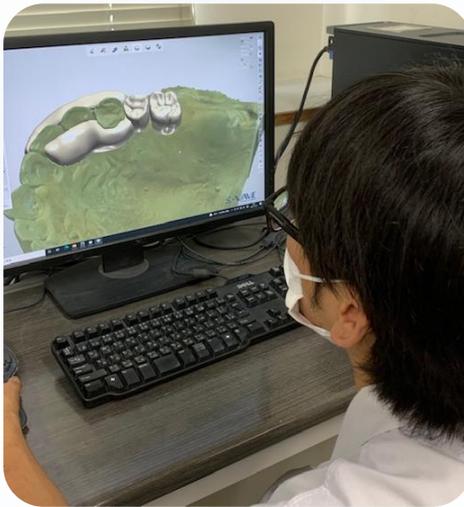
川崎歯科大学の職員の皆様のご厚意により、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

職員

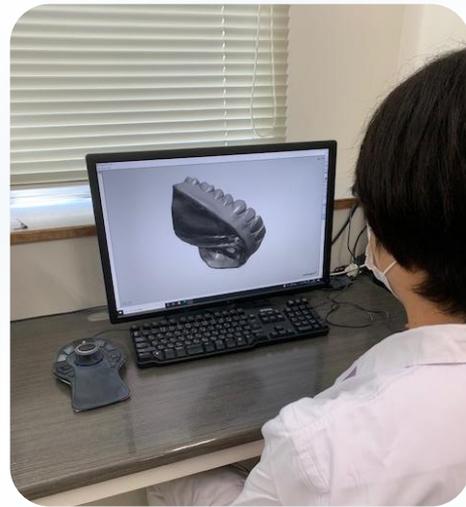


6～7月 デジタル技工

デジタル化によって、従来アナログ技法により製作していたステントが現在では CAD/CAM を使用して製作できるようになりました。



八田昂大助教（咀嚼補綴科）のステントをデザイン中の馬場職員（歯冠班・実習指導担当）



畔堂佑樹先生（口腔補綴科）のラジオグラフィックガイドをデザイン中の金澤職員（有床班・実習指導担当）

おわりに

最近益々デジタル技工のオーダーが増えてきたように感じます。

急速に進化しているデジタル技術を前に、私たち技工士はどのように付き合っていくか模索する日々でもあります。

アナログ技工とデジタル技工、両者の



いいところを活かして技工装置の製作に
反映できるよう、努力して参ります😊